

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	子ども・家庭相談コーナーの運営						掲載ページ		
							161		
コスト	事業費	平成26年度執行額		平成27年度予算額		政策分野	特別な支援を要する子どもや家庭への支援	担当局	子ども家庭局
		85,388	千円	87,899	千円	施策名	児童虐待への対応	担当課	子育て支援課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価			
目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	「子ども・家庭相談コーナー」で、子どもと家庭に関するあらゆる相談に応じ、それぞれの内容に応じた支援・対応を行い、相談者の不安や負担感の軽減を図ります。			活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	子どもと家庭に関するあらゆる相談に応じ、母子家庭の自立支援、DV被害者対応、児童虐待対応等、それぞれの相談に応じた支援・対応を行うとともに、必要に応じて他の機関のサービス・支援へつなげ、総合的な相談窓口としての役割を担います。						
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）		前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】
	相談件数		76,801 件	—	78,881 件	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	各区の子ども・家庭相談コーナーにおいて、子ども・家庭相談員等が、来所、電話、訪問、手紙など、様々な形態による相談に応じています。その相談件数を活動指標として設定しました。						
						順調	順調
(最終目標と最終年度)					やや遅れ		
					遅れ		

【Check】評価（分析）			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	子どもと家庭に関するあらゆる相談に応じ、それぞれの内容に応じた支援・対応を行い、相談者の不安や負担感の軽減を図っています。相談件数は増加しており、コーナーでは関係機関と連携し、それぞれの内容に応じた支援・対応を行い、相談者の不安や負担感の軽減を図っていることから、順調と判断しました。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	事業の実施にあたり、計画的な研修を通じ相談員の資質向上を図るなど効率的な運営をしています。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること
子どもと家庭に関する相談は増加傾向にあり、またその内容は複雑化していることから、相談員にはより高い専門性が求められています。そのため、相談員を対象に年間を通じて計画的に行っている初任者研修、主務者研修、弁護士会との合同研修、事例検討会等に加え、子ども・家庭相談コーナーのニーズに応じた研修を新たに行うことにより、相談員の資質の向上を図り、あらゆる相談にきめ細かく対応していきます。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	生後4か月までの乳児家庭全戸訪問事業の充実						掲載ページ	
							161	
コスト	事業費	平成26年度執行額	平成27年度予算額	政策分野	特別な支援を要する子どもや家庭への支援	担当局	子ども家庭局	
		45,518 「のびのび赤ちゃん訪問事業」の総額 本事業はその一部	千円	45,723 「のびのび赤ちゃん訪問事業」の総額 本事業はその一部	千円	施策名	児童虐待への対応	担当課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価		
目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	生後4か月までの乳児がいる家庭を訪問し、子育ての孤立化を防ぐために、様々な不安や悩みを聞き、子育て支援に関する必要な情報提供を行うとともに、支援が必要な家庭に対しては適切なサービス提供に結びつけることにより、地域のなかで子どもが健やかに育成できる環境整備を図ります。		活動実績	活動結果は下記のとおりです	
活動計画	訪問を継続実施し、訪問担当者に対する研修会を行うなど、事業の充実を図ります。訪問等でその居宅において面接して情報を提供します。また、訪問により、養育支援の必要な家庭を把握し、支援に繋がります。					
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】
	生後4か月までの乳児家庭訪問の割合	88.9 %	100 %	86.7 %	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	全戸訪問により母体の健康保持および胎児の健やかな発育を促すためには、専門職の訪問が必要なため、活動指標としました。 (最終目標と最終年度) 100% (平成26年度)			86.7 %		
	専門職による訪問数	6,403 件	適切な訪問	6,916 件	順調 やや遅れ	順調
全戸訪問により母体の健康保持および胎児の健やかな発育を促すためには、専門職の訪問が必要なため、活動指標としました。 (最終目標と最終年度)	108.0 %			遅れ		

【Check】評価(分析)		
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 子どもの出生数は減少していますが、子育て支援を必要とする家庭への保健師、助産師等の専門職による訪問数は増えています。また、地域支援者(主任児童委員等)による地域に住む人ならではの情報提供や関わりも定着してきており、専門職と地域支援者それぞれの強みを活かした活動が展開されていることから順調と評価しました。
	【経済性】「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 主任児童委員等の協力のもと、現在のコストで事業を維持できています。出生数は減っても、専門職の訪問対象である養育支援の必要な家庭は増えてきており、これ以上のコスト削減は困難です。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること
面接できなかった家庭に対しても、その後の乳児健診において支援を行います。子育ての孤立化を防ぎ、地域での見守り体制を充実していくために、今後も事業を継続します。 今後も関係機関と連携し、より効果的な事業の推進を図ります。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	保育カウンセラー事業						掲載ページ		
							161		
コスト	事業費	平成26年度執行額		平成27年度予算額		政策分野	特別な支援を要する子どもや家庭への支援	担当局	子ども家庭局
		3,011	千円	3,083	千円	施策名	児童虐待への対応	担当課	保育課

【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか 保育カウンセラーと保育アドバイザーが市内認可保育所を訪問し、児童虐待の疑い、養育困難など処遇の困難なケース、気になる子どもの対応について、保育所の相談に応じ、子どものケアなどの必要な指導を行います。また、緊急の案件が生じた際に、迅速に保育所に出向き、児童、保護者、保育士等の心のケアを行います。	活動実績 活動結果は下記のとおりです。				
活動計画	保育カウンセラーと保育アドバイザーが市内認可保育所を訪問し、児童虐待の疑い、養育困難など処遇の困難なケース、気になる子どもの対応について、保育所の相談に応じて、助言、指導などを行います。また、緊急の案件が生じた際に、迅速に保育所に出向き、児童、保護者、保育士等の心のケアを行います。					
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】
	保育カウンセラーと保育アドバイザーによる保育所訪問等、保育所への対応の回数	199 回	200 回	199 回	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	保育カウンセラーと保育アドバイザーが市内認可保育所を訪問し、虐待等の疑われる子どもの観察・指導・保育所職員のカウンセリング、児童処遇に関する相談等を実施することが子どもの支援となり、保育所の質の向上になるため、指標に掲げました。 （最終目標と最終年度）					
					順調	順調
（最終目標と最終年度）			%	やや遅れ 遅れ		

【Check】評価（分析）

分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	虐待の疑われる子どもやその保護者に対応する保育所24か所、気になるこどもに対応する保育所38か所、183件の事例について保育所への助言、指導等を通し、虐待への意識の向上、保育所の負担軽減を行いました。また、訪問して一定期間後に電話連絡等のフォローを行い、継続した支援を行いました。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	カウンセリング等の専門的指導をする上で、これ以上のコスト削減はできません。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること

重篤な案件を抱える保育所については優先的に継続して支援していきます。また、保育所が抱えているグレーゾーンの子どもたちへの対応も支援していきます。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	虐待の早期発見・迅速かつ適切な対応及び児童への支援のための連携強化						掲載ページ		
							161		
コスト	事業費	平成26年度執行額		平成27年度予算額		政策分野	特別な支援を要する子どもや家庭への支援	担当局	子ども家庭局
		13,928	千円	18,061	千円	施策名	児童虐待への対応	担当課	子ども総合センター

【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか 児童虐待は子どもに対する最大の人権侵害です。児童虐待の発生予防、早期発見、早期対応及び適切な支援を行うため、関係各機関との連携を図ります。			活動実績	【児童虐待相談対応件数】 平成26年度実績 454件 (前年度実績 380件) ・法律相談を毎月実施しました。 ・児童虐待防止推進月間(11月)に「児童虐待問題連続講座」を2回実施しました。 ・「児童虐待対応リーダー養成研修」を実施しました。		
活動計画	児童虐待相談対応の強化を図ります。						
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)		前年度実績	目標	実績(達成率)	→	【活動の状況】
	児童虐待問題連続講座への参加者数		304人	単年度目標設定なし	229人	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	市民や関係機関職員を対象にした「児童虐待問題連続講座」(毎年11月に開催)の参加者数を指標として掲げました。 (最終目標と最終年度)				—%		
	児童虐待対応リーダー養成研修の参加者数		177人	単年度目標設定なし	281人	順調 やや遅れ	順調
児童虐待の早期対応を図るため、保育所、学校等の職員を対象とした「児童虐待対応リーダー養成研修」を毎年実施しています。毎年対象施設が異なるため、参加者数も変動しますが、指標として掲げました。 (最終目標と最終年度)		—%			遅れ		

【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	関係機関職員を対象とした「児童虐待対応リーダー養成研修」や市民や関係機関職員に対する「連続講座」などを実施した結果、児童虐待通告件数は、平成26年度は747件で、前年度(平成25年度547件)に比べ200件(36.5%)増加しました。これに対して、通告のうち児童虐待と認められた児童虐待対応件数は、平成25年度に比べ19.4%(平成26年度:454件)の増加に留まっています。 なお、子どもプランの目標設定時(平成20年度374件)と比較すると増加していますが、これは「子ども虐待対応の手引き」が昨年度改正され、対象児のきょうだい児も手厚くフォローするようになったためです。 以上のことから、児童虐待の早期発見や早期対応など、虐待が深刻化する前に適切な支援ができる体制づくりが進んでいると考え順調としました。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	児童虐待に関する研修や啓発については、専門的な知識や経験が必要で、学識経験者等による講義に加え、一部の研修では経験を積んだ職員が講師を行うなど、効果的かつ効率的に実施しています。 また児童虐待対応は関係法令上、区や児童相談所がケースマネジメントの主体とならざるを得ないことから、本市と福岡県弁護士会北九州支部との間において、本市職員が月1回無料で法律相談を受けられる協定書を締結し、法律面での能力向上にも努めています。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること

本事業は、施策に対する有効性も高く、特別な支援を要する子育て家庭への対応を図っていく上で、重要な事業の一つであると考えています。今後も目標の達成に向け、着実な取り組みを進めていくことで、関係機関の虐待に対する専門的知識の向上と連携の充実に努めます。平成27年度は、認可保育所、高等学校の職員を対象とした、「児童虐待対応リーダー」を養成する研修、及び11月の児童虐待防止推進月間に「児童虐待問題連続講座」を開催します。また、児童虐待について、関係機関と連携を図りながら、発生予防、早期発見に努め、迅速かつ適切に対応します。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	乳幼児健康診査未受診者フォローアップ事業						掲載ページ	
							162	
コスト	事業費	平成26年度執行額	平成27年度予算額	政策分野	特別な支援を要する子どもや家庭への支援	担当局	子ども家庭局	
		23,460 「すくすく子育て支援事業」の総額 本事業はその一部	千円	26,623 「すくすく子育て支援事業」の総額 本事業はその一部	千円	施策名	児童虐待への対応	担当課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価		
目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	虐待につながりやすい状況を早期に把握し予防するため、乳幼児健康診査未受診者に対して、家庭訪問を実施し、受診勧奨するとともに、養育に関する相談に応じます。また、妊婦や乳幼児の健康診査をデータ管理し、受診結果に応じて保健指導を行いません。		活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	事業を継続して実施します。					
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】
	家庭訪問件数	401 件	適切な訪問	347 件	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	4か月・1歳6か月児健康診査未受診者に対して家庭訪問し、状況を確認することが、乳幼児の健康保持や虐待の予防・早期発見につながると考え、活動指標としました。 （最終目標と最終年度）					順調
					やや遅れ	
				遅れ		

【Check】評価（分析）			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	予定どおり、4か月児と1歳6か月児健康診査の未受診者に対して、受診勧奨はがきを送付するとともに、訪問等により子どもの成長発達や育児不安等の相談に応じることができました。健診受診を勧奨することで、乳幼児の健康保持や虐待を早期に発見する役割を果たせたため、順調と判断しました。乳幼児健診の未受診者は、様々な問題を抱えていることがあるため、今後も受診勧奨し、支援することは必要です。
	【経済性】 【効率性】の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	関係機関と連携することで情報を把握しながら効率的に実施しています。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること
乳幼児健康診査の未受診者に対して、受診勧奨し家庭訪問等の支援を継続します。また、健診情報のデータ管理を確実にし、未受診者の確実な把握を行いません。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	子ども総合センターの運営						掲載ページ		
							162		
コスト	事業費	平成26年度執行額		平成27年度予算額		政策分野	特別な支援を要する子どもや家庭への支援	担当局	子ども家庭局
		92,796	千円	96,758	千円	施策名	児童虐待への対応	担当課	子ども総合センター

【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を（誰を）どのような状態にしたいのか 児童福祉法に基づく児童福祉の専門的行政機関として、相談、指導、心理・障害判定、一時保護などの業務を行っており、児童虐待、非行、不登校などの様々な課題を抱える子どもや保護者に対応するため、カウンセリングやケースワーク、関係機関との調整、連携により適切な支援を行います。	活動実績 活動結果は下記のとおりです。				
活動計画	子どもや保護者などの相談者に適切な支援等を行うため、各種取り組みを着実に進めていきます。					
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】
	児童相談受付件数	6,212 件	単年度目標設定なし	6,876 件	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	児童に関するあらゆる相談を受け付けた件数であり、児童福祉に関する専門的行政機関としての活動を最も端的に示すデータであることから指標に掲げました。 （最終目標と最終年度）			— %		
					順調	順調
				やや遅れ 遅れ		

【Check】評価（分析）

分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析 活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	児童相談受付件数は増加しており、これは児童虐待等に関する広報・PRによる効果と認識しています。また、相談者には適時的確に支援を行っていることから、活動は順調と判断し、今後とも推進を図ります。
	「経済性」「効率性」の分析 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	運営に係るコストについては、最小の経費で最大の効果を挙げるという組織管理の基本的理念に基づき、計画的かつ効率的な予算執行に努めてまいります。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること

児童相談所（子ども総合センター）は、児童福祉法で政令指定都市に設置が義務付けられた行政機関であり、児童福祉の専門的機関として、児童を取り巻く多種多様な課題等に対し、迅速かつ適切に取り組むことが必要です。今後とも、次代を担う子どもの健やかな育成のため、関係機関等との連携を密に図りながら、より効率的、効果的な事業運営に努めてまいります。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	家族のためのペアレントトレーニング事業						掲載ページ		
							162		
コスト	事業費	平成26年度執行額		平成27年度予算額		政策分野	特別な支援を要する子どもや家庭への支援	担当局	子ども家庭局
		1,453	千円	1,630	千円	施策名	児童虐待への対応	担当課	子ども総合センター

【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を（誰を）どのような状態にしたいのか 虐待を行った保護者や養育不安のある保護者に対して、適切なカウンセリングを行いながら、児童に対する養育技術や家庭環境の整備に関する訓練を行うことを通して、虐待の未然防止、再発防止等を図るため、取り組みます。	活動実績 活動結果は下記のとおりです。
活動計画	対象家族への支援を継続していきます。	

活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】
	参加家族数（養育不安コース）	プログラム等への参加家族数の増加が、養育技術習得や養育不安の軽減に直結することから、活動指標として掲げました。 （最終目標と最終年度）20家族（平成26年度）	14 件	20 件	13 件 65.0 %	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ
参加家族数（家族再統合コース）		プログラム等への参加家族数の増加が、親子関係の改善や家庭環境の整備に直結することから、活動指標として掲げました。 （最終目標と最終年度）20家族（平成26年度）	19 件	20 件 75.0 %		

【Check】評価（分析）

分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	「家族再統合コース」では虐待を行った保護者13家族と新規養育里親等2家族、「養育不安コース」では養育不安を持つ保護者13家族に対し、事業を実施したことから順調としました。 虐待を行った保護者や養育不安のある保護者に対して、本事業を通じて、児童に対する養育技術や家庭環境の整備に関する訓練を行い、特別な支援を要する子どもや家庭への支援を図る上において、有効性は高いと考えています。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	最小の経費で最大の効果を上げるべく、計画的かつ効率的な予算執行に努めて、運営しています。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること

本事業は、施策に対する有効性も高く、虐待を受けるなど特別な支援を要する子どもや家庭を支える上で、重要な事業の一つであると考えています。今後も目的の達成に向け、着実な取り組みを進めていくとともに、より多くの方に本事業に参加するよう努力する必要があると考えています。引き続き、関係機関への周知を行うとともに、適用ケースの見極めや区役所におけるニーズの掘り起こしを進めていきます。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	メンタルフレンド派遣事業						掲載ページ		
							162		
コスト	事業費	平成26年度執行額		平成27年度予算額		政策分野	特別な支援を要する子どもや家庭への支援	担当局	子ども家庭局
		191	千円	371	千円	施策名	児童虐待への対応	担当課	子ども総合センター

【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	メンタルフレンドをひきこもり等の児童の家庭等に派遣し、児童の心の健康を回復させるとともに、対人関係能力の向上や生活リズムの改善等を目指します。 また、軽度の被虐待経験のある児童の家庭等に派遣し、児童の心理的安定や対人関係能力の向上を図り、親子関係の安定維持を目指します。	活動実績	活動実績は以下のとおりです。			
活動計画	メンタルフレンド登録者には、年1回以上の研修の受講等を継続登録の要件としています。平成26年度も引き続き、メンタルフレンドを派遣し、定期的に児童の家庭等で会話やゲーム、スポーツ等を通じた児童とのふれあいの機会を作ります。						
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）		前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】
	メンタルフレンド派遣実績		29 件	単年度目標設定なし	39 件	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	メンタルフレンドの派遣件数の増加が、児童の心の健康回復や生活リズムの改善等に寄与することから、活動指標として掲げました。 (最終目標と最終年度)						順調
(最終目標と最終年度)							

【Check】評価（分析）

分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	メンタルフレンド登録者に研修等を実施し、質の向上に努めました。派遣先のニーズと一致せずに派遣開始に至らないケースがあるなど、利用者が減少する要因はありますが、ひきこもりの状態にある児童や軽度の被虐待経験がある児童に対して、一定の研修を積んだ資質と意欲のあるメンタルフレンドを派遣し、当該児童とのふれあいを通じて、心の健康回復や対人関係能力の向上、親子関係の安定維持を支援することができる本事業は、一定の有効性をもつと考えます。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	最小の経費で最大の効果をあげるべく、計画的かつ効率的な予算執行に努めて運営しています。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること

「児童虐待の早期発見・迅速かつ適切な対応および児童への支援のための連携強化」事業の中で一体的に取り組んでいきます。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	ひきこもり児童宿泊等指導事業						掲載ページ		
							162		
コスト	事業費	平成26年度執行額		平成27年度予算額		政策分野	特別な支援を要する子どもや家庭への支援	担当局	子ども家庭局
		830	千円	962	千円	施策名	児童虐待への対応	担当課	子ども総合センター

【Plan】計画 →

目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか 不登校やひきこもり状態にある児童を対象に、通所による陶芸教室等を実施し、社会適応力や対人関係能力の向上、精神的安定及びストレスの解消を図ります。	活動実績 活動結果は下記のとおりです。
活動計画	不登校児童等を対象にした体験型教室を実施します。	

活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】
		事業実施回数 本事業は、自己肯定感を高めるとともに児童に社会適応力を身につけさせるため、陶芸教室の中で、職員が密に接し、行動観察を行い支援・援助を行うもので、事業の実施回数が事業目的に直結することから、活動指標として掲げました。 （最終目標と最終年度）	45 回	単年度目標設定なし	42 回	大変順調
	（最終目標と最終年度）				順調 やや遅れ 遅れ	順調

【Check】評価（分析）

分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	活動の状況は、ほぼ昨年並みに事業を実施したことから順調としました。今年度は、陶芸教室を42回実施し、不登校やひきこもり、非行や発達障害等の児童に対して、社会適応力や対人関係能力等の向上に努めました。活動の有効性は高いと考えます。
	【経済性】 【効率性】の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	最小の経費で最大の効果を上げるべく、計画的かつ効率的な予算の執行に努めています。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること

「子ども総合センター運営」事業の中で一体的に取り組んでいきます。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	児童虐待防止医療ネットワーク事業						掲載ページ		
							H26年度新規		
コスト	事業費	平成26年度執行額		平成27年度予算額		政策分野	特別な支援を要する子どもや家庭への支援	担当局	子ども家庭局
		1,310	千円	4,500	千円	施策名	児童虐待への対応	担当課	子育て支援課

【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を（誰を）どのような状態にしたいのか 核となる医療機関を中心に、児童虐待対応のネットワークづくりや保健医療従事者への研修等を行い、虐待の早期発見、早期対応につながる適切な対応ができる体制づくりを進めます。	活動実績 活動結果は下記のとおりです。				
活動計画	中核的な小児救急病院等に児童虐待コーディネーターを配置し、地域の医療機関から児童虐待対応に関数相談への助言を行うなど、医療機関を中心としたネットワークを構築し、児童虐待対応への必要な体制整備を行います。					
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】
	児童虐待向上のための教育研修の参加者数	-	— 件	80 件	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	保健医療従事者に対する研修を行い、児童虐待対応に対する理解を深めてもらうことが虐待の早期発見に必要と考えるため、参加者数を指標として掲げました。 （最終目標と最終年度）					順調
					やや遅れ	順調
				遅れ		

【Check】評価（分析）

分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	小児救急病院に児童虐待コーディネータを配置し、児童虐待対応のためのマニュアルづくりを行いました。また、児童虐待対応向上のための教育研修を実施し、児童虐待対応の体制整備が進んでいるため、順調と判断しました。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	最小の経費で最大の効果を上げるべく、計画的かつ効率的な予算執行に努めて、運営しています。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること

本事業は、虐待を受けるなど特別な支援を要する子どもや家庭を支える上で、虐待を早期に発見するために重要な事業の一つと考えています。平成27年度は児童虐待対応のマニュアルづくりを進め、保健医療従事者への研修等を実施するとともに、目的の達成に向け、着実な取り組みを進めていきます。